

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 クオリティ・オブ・ライフ小美玉支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	50%	17%	室外・内で活動を分ける。障害の特質に応じた居室が必要。法的には適切であるが、狭く感じる。
	② 職員の配置数は適切であるか	0%	100%	0%	利用者によっては難しい。ケアが十分に必要な利用者が重複しない対策。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	83%	17%	玄関での靴の履き替えで混雑。段差がある。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	50%	17%	33%	業務上の課題について、日常は話題になっているが、それが会議などで提案されない。共通理解がなされないことがある。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	67%	33%	0%	評価表の活用が収支の改善につながるか分からないが、利用を取りやめたり、その予定の利用者がいる。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	83%	17%	0%	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%	0%	未回答：1
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	50%	50%	0%	どのような資質なのか？基本的に研修の時間を持つのは厳しい。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	80%	20%	0%	未回答：1 保護者のニーズを適切に把握できているのか？利用減の原因は？
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	33%	17%	研修、導入したいが時間や費用、リードする職員の時間確保が必要。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	33%	67%	0%	一部検討し合うことはある
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	50%	50%	0%	一部曜日ごとの集団活動を入れ替えている。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	83%	17%	0%	前日、当日になって検討することもある。個人的には活動が始まって知る事もある。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%	0%	その方向性で努力しているが、障害に応じた場と職員の確保が必要
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	33%	50%	17%	出来ないこともある。管理者への報連相はしているつもりである。AMの児発、PM放デイ共に時間をとる事が出来ない状態。毎回は行っていない。長期休みなどは特に。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	0%	出来ないこともある。管理者への報連相はしているつもりである。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%	0%	保護者向けの記録と発信はしているが、支援の改善とまではいかないことも多い。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	50%	50%	0%	モニタリング？見直し？
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	67%	33%	0%		
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	33%	50%	17%	担当者会議を行わなかった。主に管理者、児発管のみ。	

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	67%	33%	0%	
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	80%	20%	未回答：1 該当なし（てんかんについては？）。基本的には受け入れを行っていない。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	20%	40%	40%	未回答：1 わかりません。近場の園では行っている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	60%	20%	20%	未回答：1 わかりません。書式は独自のものになるが作成予定。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	40%	60%	未回答：1 わかりません
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	0%	33%	67%	保育園児のみ
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか	0%	0%	100%	未回答：1 わかりません
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%	0%	情報共有はしているが、保護者の考え、学校での様子・指導について分からない事も多い。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	33%	33%	ないのではないかな…。
保護者への説明的責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%	0%	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	83%	17%	0%	定期面談はある。家庭によって実施の成果は異なる。職員への情報共有が出来ていないこともある。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50%	17%	33%	先日の親子レクリエーションの実施は実現できてよかった。（回数・内容・参加数が課題）。今年度初めて親子行事を行った。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%	0%	多くの場合は積極対応をしているが、時として伝えるべきことの確認が出来ていない事がある。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	おたより、SNS
	㉞	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83%	17%	0%	自分自身で不十分だと感じる。
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	33%	33%	
非常時の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	33%	0%	衛生面を考えた時に不十分な事がある。（施設・設備上の事）職員の対応の問題ではないのではないか。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年2回（2・9月）
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	車中で安全にすごしてもらう為の対策が必要。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	67%	33%	0%	安全に身体拘束をする為の研修が必要。特定した利用者の為の個別対応が必要。
	㊶	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	20%	60%	20%	未回答：1 医師の指示書がどうか分からない。ドクターではないが、保護者とやり取りをしている。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	